

太刀取り技法のチェックシート (ver.201107)

廿日市合気道クラブ

審査では、5種類を実施。取りは右相半身の自然体で構える。受けは正眼（中段）の構えから正面打ち。最後は、太刀を持ち直して正眼の構え、残心。

1. 外（左）入り身

取りは左手で受けの右脇に当て身が入れられる程度に入り身する。右手は体の前に出さず、右肩を開いて、右手や右肩が太刀に触れないように注意する。

①入り身投げ

右手で太刀の柄をつかみ、左手で受けの後襟を引き寄せる。受けを崩した後に、柄で受けの顔面打つように返して、首を巻き込んで投げる。

②側方入り身投げ

右手で太刀の柄をつかみ、受けの右側面から左肩を入れ、受けの体を制して投げる。左足を受けの背部下まで踏み入れることが大事。

③天秤投げ

右手で太刀の柄をつかみ、受けの右脇に左肩を入れて受けの体を浮かして、左足を踏み入れて投げる。

④肘固め

左手で受けの右手を上からつかみ、右手の平で受けの右手を下から抱え込むように取りつつ後ろに転換し、受けの右肘を制して太刀を取る。

⑤小手返し投げ（表）

両手で受けの右手をつかみ、受けの前側に体を転換して小手を返して投げる。受けの体を反転してから太刀を取り、

⑥太刀切り上げ

左手で太刀の柄を上からつかみ、右手で太刀の峰を上から押さえつつ、受けの前側に体を転換し、受けの腹側を切り上げる。

2. 内（右）入り身

右手で受けの左脇に当て身が入れられる程度に入り身する。左手は体の前に出さず、左肩を開いて、左手や左肩が太刀に触れないように注意する。

⑦四方投げ

右手で太刀の柄を下からつかみ、左手で太刀の峰を抑えつつ、受けの右側から抜けて四方投げ。

⑧呼吸投げ

右手で太刀の柄を上からつかみ、体を転換し、太刀を振りかぶって受けの体を浮かして投げる。

⑨太刀切り返し

右手で太刀の柄を上からつかみ、峰を手前に向けて左手で抑える。体を左に転換し、腰の高さで左で太刀の峰を押さえつつ、受けの腹部を切る。

⑩呼吸投げ

左手で太刀の柄を上からつかみ、受けの左脇から右腕を差し入れ、受けの体を浮かして投げる。

以上